

私学振興・スポーツ振興・国際交流に尽力



愛知工業大学 愛知工業大学情報電子専門学校 愛知工業大学名電高校 愛知工業大学附属中学校

目次:

年頭あいさつ	2
選抜出場グラフ	3
本山キャンパス	4
IDCロボコン	5
スポーツ情報	6・7
教育訪日団	8

発行所  
名古屋電気学園  
〒464-8540  
名古屋市千種区若水3-2-12  
Tel (052) 721-0201

後藤理事長の叙勲祝賀会開く

平成十六年秋・旭日中綬章受章  
六百五十人が出席してお祝いの言葉

昨春秋、「私学振興功労」などで旭日中綬章を受章した後藤淳・学園理事長の叙勲祝賀

会が二月十日夕、名古屋市のウエストインナゴヤキャッスル二階・天守の間に約六百五十人が出席して



お礼の言葉を述べる後藤理事長と和子夫人

教職員一丸で厳しい状況に打ち勝つ取り組みを

年頭あいさつで要請  
学園全体の発展求め  
理事長

仕事始めの一月七日、後藤淳理事長は本部棟五階大会議室で教職員に年頭のあいさつをしました。後藤理

事長は「今年もいいスタートが切れるよう、教職員一丸で厳しい状況に打ち勝つ取り組みをしてほしい」と要請、万博関連事業の成功についても協力を求めました。②面にあいさつ要旨。

ユーモアたっぷりにあいさつする鈴木礼治・前愛知県知事

発起人代表

財団法人愛知県国際交流協会会長  
学校法人名古屋電気学園理事  
前愛知県知事  
鈴木 礼治氏

発起人 (50音順)

財団法人愛知県体育協会副会長 学校法人名古屋学院大学理事長	伊藤 信義氏
清水建設株式会社相談役	今村 治輔氏
元環境大臣 前衆議院議員 友人代表	大木 浩氏
中日新聞社取締役最高顧問	大島 宏彦氏
愛知県私学経営者協会会長 学校法人桜花学園理事長	大谷 和雄氏
日本私立大学協会副会長 愛知学院大学学長	小出 忠孝氏
愛知県私立短期大学協会会長 学校法人名古屋女子大学理事長	越原 一郎氏
社団法人中部産業連盟会長 リンナイ株式会社代表取締役会長	内藤 明人氏
株式会社豊田自動織機取締役会長 東海日中貿易センター会長	横井 明氏

後藤理事長の主な現職

日本私立大学協会常務理事	日本学生卓球連盟会長
愛知県私学総連合会会長	日中友好協会名誉副会長
愛知県私立大学協会会長	日中文化交流協会常任理事
愛知県体育協会会長	アジア卓球連合終身名誉会長
全国高等学校体育連盟卓球専門部最高顧問	
名古屋産業科学研究所所長	セイシェル共和国名誉領事

開かれました。まず発起人を代表して鈴木礼治前愛知県知事がユーモアたっぷり業績を紹介。続いて神田真秋知事、松原武久名古屋市長、原野幸康日本私立大学協会常務理事の祝辞があり、祝電披露や花束贈呈の後、後藤理事長が「叙勲の栄誉は、ひとえに皆さんのご協力のたまものです」と謝辞を述べました。②写真など②面に。

4年連続8回目の出場  
第77回選抜高校野球大会  
名電高 全国初制覇を目指す



第77回選抜高校野球大会の出場校を決める選考委員会が一月三十一日、大阪市北区の毎日新聞大阪本社で開かれ、愛工大名電高校は準優勝した前回に続き、四年連続八回目の出場が決

した。③面に写真グラフ。この後、桜井校長が正面広場に整列した選手たちに出場決定を報告。選手たちは倉野監督を胴上げして喜びを表現、インタビューでは全国初制覇を誓っていた。

まりました。大勢の報道陣が待機する校長室に午後三時二十四分、高野連から「出場決定」の電話連絡が入り、桜井正一校長は「謹んでお受けします」とこたえた後、野球部の織田秀彦部長、倉野光生監督、小宮裕希コーチと握手を交わして出場を喜びました。②写真。



# 万博や空港 いいスタートの材料に

この地域の問題だけでなく、日本が色々な意味で問題を抱えている中で、これらのことがいいスタートを切れる材料になってほしいと願っているわけです。一番いいのは平和であること、そして日本が国力をつけること。大学の近くで開かれる万博が大学のプラスになるように利用でき、大学を中心に学園が発展するいい材料になるように、またそんな取り組みが出来るようなスタートが切れればと思います。間もなく、卒業生を送り出し、新入生を迎えるという大事な時を迎えます。十七年度がいいスタートが切れるように、準備、態勢を整える努力をお願いします。

## 後藤理事長の年頭あいさつ(要旨)

ピックでは、日本は力をつけてきたということが示されました。アテネのオリンピックもありましたし、これで日本はスポーツだけでなく、色々な面で元気が出てくるいい材料かなと思っていました。しかし夏の猛暑以来、台風、地震、そして年末には非常に大きな津波がインド洋全般に広がり、年を締めくくるのにいい感じではありませんでした。そして二〇〇五年というわけですが、平成十七年度に向かつては大学は経営情報科学部の大学院設置が認められ、本山キャンパスも間もなく出来上がるということですので準備に入っています。その前に愛知万博が大学の両側で開かれます。また、二月の下旬に入るころには新しい空港も出来てきます。名古屋を中心とす

## 祝辞

⑥から神田真秋・愛知県知事、松原武久・名古屋市長、原野幸康・日本私立大学協会常務理事(大沼淳会長の代理)



## 謝辞

650人の出席者を前に、感無量の面持ちでお礼の言葉を述べる後藤理事長(左端)



## 写真で見ると 叙勲祝賀会



## 鏡開き

発起人が勢揃いし赤い法被を着こんで「エイッ」



## 乾杯

友人代表の大木浩・元環境大臣が音頭をとって



## お礼

発起人の内藤明人・中産連会長が盛会を感謝



## 囲まれて

①久しぶりに会う人たちと話がはずむ②OBの朝乃若関③と武雄山関も出席



教職員もお祝い 二月八日午後六時から、名古屋市中区のガーデンパレス3階「明倫の間」で、教職員約三百三十人が出席し、理事長の叙勲祝賀会が開かれました。



お礼を述べる理事長



お祝いの言葉を述べる西井松生・学園事務局長

他大学単位互換履修生用開設科目一覧

学期	対象専攻・学年	科目名	担当	開講時間
前期	全学科全専攻・全学年	特別講義 万博大学－フロンティアの探求	森 豪基礎教育センター教授	土曜3限
前期	建築環境学専攻②	生態学	内田 臣一都市環境学科助教授	火曜4限
前期	マーケティング情報学科③	マーケティング戦略論	長谷川 博マーケティング情報学科教授	火曜3限
後期	知能機械工学専攻①	知能機械概論	加藤 厚生機械学科教授	火曜4限
後期	情報通信工学科④	情報通信網Ⅱ	中村 栄治電気学科助教授	金曜2限
後期	経営情報システム専攻①	会計学	野村健太郎情報科学科教授	火曜4限

特別講義「万博大学」も加える

単位互換 前・後期各三科目を開講

愛知県内の四年制大学で学ぶ学生なら、誰でも単位

取得が可能な愛知工業大学の平成十七年度「他大学単位互換履修生用開設科目」がこのほど、教務委員会審議を経て上表のように決まりました。愛知学長懇話会(四年制四十九大学)が取りまとめを実施している単位互換制度で、愛工大が開設するのは前期三科目、後期三科目の計六科目(すべて二単位)です。

三月二十五日に開幕する「愛知万博」にあわせ、著名人を講師に招く愛工大の公開講座「21世紀・万博

電気学会 東海支部

学生のための学術講演会開く



電気学会東海支部主催による「学生のための学術講演会」が十二月六日、愛工大の10号館大講義室で開か

れました。写真。豊田中央研究所の渡辺修・主任研究員が「近接場光による有機ポリマー表面への光ナノ加工技術とその応用―超高密度メモリー、超微細加工を目指して」と題して講演。非常に短い波長を持つ近接場光を利用して、光ディスクなどへの超高密度な書き込みや非常に微細な加工をするための研究成果を披露しました。

大学」も、「特別講義 万博大学」フロンティアの探求」として単位互換科目に加えられました。万博大学の開講が十三回のため、一部大学で単位認定されないケースもあることから、森豪教授の補講を二回追加し、学長懇話会加盟の全十

大学で単位認定ができる全十五回の特別講義としました。補講会場はいずれも愛工大内の大講義室、時間は午後一時～二時三十分。日程などは次の通りです。

- ◇ 五月二十八日(土) 「ものづくり文化」
- 九月十七日(土) 「万博大学総括」

倉野監督を胴上げして喜ぶ選手たち



監督や選手へ花束を贈る保護者たち



目標は全国制覇 8回目の選抜出場

記者の質問に答える主力選手たち



選手の起用や作戦など抱負について質問攻めにあう倉野監督



正門脇に掲げられた祝甲子園出場の垂れ幕



カメラやマイクの砲列を敷く大勢の取材陣

氏名(敬称略)	担当科目	肩書
奥村 隆平	マクロ経済学	名古屋大学大学院教授
大岩 路雄	国際経営論	元デンソー副社長
佐々木 賢治	国際経営論	エス・アイ・エー代表取締役
孫 治根	国際経営論	名古屋総領事館領事
大西 匡	経営戦略論	豊田工機取締役会長
長谷川 武彦	経営戦略論	ヤマハ発動機顧問
柘植 映二	経営戦略論	トヨタ車体顧問
加藤 清敏	経営戦略論	トヨタ自動車九州顧問
日比野 香	知的所有権	特許庁審判部審判長
杉山 哲朗	品質マネジメント・システム論	中部品質管理協会専務理事
水野 忠則	情報分散・ネットワーク論	静岡大学教授
山本 達司	経営分析論	名古屋大学大学院教授
田村 隆善	経済性分析論	名古屋工業大学大学院教授
友杉 芳正	監査論	名古屋大学大学院教授
徳永 豊	ベンチャー・ビジネス論	愛知工業大学客員教授
古賀 智敏	ファイナンシャル・マネジメント論	神戸大学大学院教授
末政 芳信	管理会計論	関西大学名誉教授
小川 光	ミクロ経済学	名古屋大学大学院助教授
Si Si	統計学	愛知県立大学助教授



㊤事故防止用のネットも外され、外観が分かるようになった本山キャンパス㊦大学院の概要・入試説明会



## 四月の開講に向けて準備進む

### 完成間近の愛工大大学院・本山キャンパス 記念講演や特別講義などの計画も

愛知工業大学のビジネス系大学院「経営情報科学研究科」の設置が文部科学省に認められ、四月にいよいよオープンします。講義などが行なわれる本山キャンパス(名古屋市中種区本山)も、事故防止用ネットが外されて外観が分かるようになりました。三月末には、テナントの喫茶店が開店する予定で、四月

月二日にオープンングセレモニーをする計画です。一方、経営情報科学研究科の外部講師が担当する科目も上表のように決まりました。また「21世紀・万博大学」のサテライト教室として使用されるほか、資格講座、特別講義など、開設講座も固まりつつあります。文部省の設置認可を受けて昨年十二月四、五日の二

日間、名古屋市中区錦三丁目の名古屋国際ホテルで、社会人を対象にした大学院の概要や入試方法などの説明会が開かれました。研究科長に就任予定の野村健太郎教授が概要説明したのに続き、鈴木達夫教授、石井直宏教授、野村教授が経営システム関連、情報システム関連、財務システム関連の分野ごとに詳しく研究内容を紹介します。続いて大学の入試部入試広報課が、入試方法などの説明を行いました。二日間の参加者は、女性五人を含む四十人。

### ◇戸伏教授に文科省・特別研究員奨励費

文部科学省は平成16年度科学研究費補助金として、戸伏壽昭・工学部機械学科教授に90万円の交付を決めました。特別研究員奨励費(新規)で、ポーランドの女性研究者、エルズビエタ・ピエチェスカさんを招いての共同研究が実現します。テーマは「静的および動的負荷を受ける形状記憶合金と形状記憶ポリマーの熱・力学特性に関する実験的研究」。ピエチェスカさんは科学アカデミーの研究員で、ことし10月まで戸伏教授と共同研究の予定です。

### ◇服部助教授に愛知健康増進財団が助成金

財団法人・愛知健康増進財団(安部浩平会長)は、「平成16年度医学研究・健康増進活動等助成」の医学研究分野で服部洋児・基礎教育センター助教授の研究に25万円の助成を決め、11月29日に名古屋市中区錦3丁目の名古屋国際ホテルで贈呈式が行なわれました。服部助教授の研究は「車椅子からベッドへの移乗作業時の介助作業員・患者の負担感に関する実験研究」です。

### ◇酒井教授らに日本分析化学会FIA論文賞

日本分析化学会フローインジェクション分析研究懇談会(委員長・本水昌二岡山大理学部教授)の2004年度フローインジェクション分析(FIA)論文賞にこのほど、酒井忠雄・工学部応用化学科教授ら5人の共著による「5-B r -P S A Aを用いる患者血清中の銅・鉄のフローインジェクション分析および病態診断への応用」が選ばれました。2003年発行の「Analytica Chimica Acta」に掲載された論文で、執筆者は酒井教授、手嶋紀雄助教授、後藤真吾大学院生の愛知工業大学関係3人のほか、井田和徳・村上記念病院院長、浦信夫・相馬光学社長の計5人です。

# 愛工大ホスト校に八月開催

## IDCロボットコンテスト2005

### 世界七大学が参加し万博会場で決勝

ロボット工学をリードする世界七大学の学生が力を合わせてロボットを製作、愛知万博での決勝戦を目指す第十六回「IDCロボットコンテスト2005」が八月二日から十六日まで行なわれます。長久手会場に近い愛知工業大学がホスト校で、学生もコンテストにも加わりまます。二日から四日のワークショップで設計や製作、プログラミングを実施、十五日は愛工大予

選が行なわれます。

参加するのはマサチューセッツ工科大学(米)、ケンブリッジ大学(英)、ダラムシユタット工科大学(独)、フランス大学選抜チーム(仏)、サンパウロ大学(伯)、ソウル大学(韓)、東京工業大学の七大学。それに、ホスト校の愛工大生を加えて混成チームがつけられます。

海外からの学生たちは八月一日に来日。愛工大の学

# 学生寮改修に着手



愛工大は学生寮を改修するため、現在の入寮者を収容する施設として別棟に寮を増築することにな

り、十二月七日午前十時から寮南側の建設現場で起工・安全祈願祭が行われました。式には学園や工事関係者ら約四十人が出席、寮の無事完成や工事の安全を祈願しました。

増築される寮(写真IIイメージ図)は鉄筋コンクリート四階建てで、延べ床面積は約一三〇〇平方メートル。一階にはロビーやラウンジ、洗濯スペースなどが設けられ、2、3、4階が居住スペースとなっています。二、三階には個室が各十一室あり、

生寮に泊まり込んでマシン製作に打ち込み、十六日に行なわれるエキスポ会場での決勝戦に出場します。ワークショップでの作業やコンテストは、一般公開される予定です。



IDCロボットコンテスト2004の試合風景

### 環境に留意した 藁の家の製作始まる

愛工大本部棟横の砂防池南側で、工学部都市環境学科の学生らが建部謙治教授の指導を受け、藁(わら)の家の製作に打ち込んでいます。愛知万博でも麦藁の家が市民プロジェクトによって企画されていることから、建築学を志す学生有志としてこれに呼応することにしたのだそうです。

広さは約四畳で、大学近くの林から集めてきた間伐材で骨組みを作りました。断熱・風通しと環境をテーマにした研究の一環でもあ

り、竹を割って並べた屋根に芝生用の肥料マットを乗せ、花などを咲かせる予定です。壁は束ねた藁を敷き詰め、泥を塗って仕上げます。周辺にベンチなどを置いて環境を整え、万博大学開講までに完成させて受講者に見てもらおう計画です。



砂防池南側で製作されている藁の家

四階は女性用の四室と室内のドアで行き来出来るコネクートルーム三室(六室

分)、ラウンジなどがあります。七月中旬に完成する予定です。

## 簡単パーツの開発で中経連会長賞

### 2足歩行キャラクタロボット組み立てキット

学生の提案コンペ「工学研究科の杉山君ら九人

中部地域の学生による新事業の提案コンペ「キャラクタロボット組立キット」が新技術部門の優秀賞・中部経済連合会長賞に輝き、二月二日に表彰式が行なわれました。小型の2足歩行ロボット

専攻二年)ら九人の「2足歩行キャラクタロボット組み立てキット」が新技術部門の優秀賞・中部経済連合会長賞に輝き、二月二日に表彰式が行なわれました。小型の2足歩行ロボット

は、多くの人の興味を集めている割に製作に高度な技術、知識、工作設備が必要で、気軽には作れません。そこで、初心者でも簡単に組み立てられる専用パーツの開発に着手。現在市販されているキットの問題点を改善する一方、企業と協力してサーボモーターの開発にも成功したことが受賞につながりました。

「学内企業研究会」は2月24日、25日の開催

企業の業績反映？  
大学の就職順調！

大学の就職支援センターが二月一日現在でまとめた就職内定状況調査結果によると、工学部、経営情報学部昼間主の合計内定率は九三・八割で、昨年同時期の八八・六割を五・二ポイント上回っています。

工学部の就職希望者は九百二十人、内定者は八百八十人となっており、内定率は九五・七割。また、経営情報科学部は百九十一人の希望者に対し、内定者は百六十二人で、内定率は八十四・八割。

一方、学生が直接企業の

学園と姉妹学園の

卒業・入学式

日程が決まる

名古屋電気学園の関連四校と、姉妹学園・愛和学園の平成十六年度卒業(園)式、入学(園)式の日程が下表の通り決まりました。愛知万博のスケジュールと重なることから、大学の卒業式日程が変更になっています。ご注意願います。

学園	学校	卒業(園)式	入学(園)式	会場
名古屋電気学園	愛知工業大学	3月19日(土) 午前10時	4月5日(火) 午前10時	鉀徳館
	愛工大情報電子専門学校	3月18日(金) 午前10時	4月8日(金) 午前10時	402講義室
	愛工大名電高校	3月1日(火) 午前9時	4月6日(水) 午前9時	喬徳館
	愛工大附属中学校	3月16日(水) 午前10時	4月6日(水) 午前10時	愛名館
愛和学園	愛知工業専門学校	3月16日(水) 午前10時	4月11日(月) 午前10時	4階製図室
	あいわ幼稚園	3月15日(火) 午前10時	4月9日(土) 午前10時	遊戯室

人事担当者らと会って就職情報などを入手出来る今年初の学内企業研究会が二月二十四、二十五日の両日、鉀徳館に延べ百八十社が参加して開催されました。

スポーツ情報コーナー

東海学生駅伝は胸の差で4連覇逃す



胸の差で2位となったゴール直前のアンカーの激しい競り合い(中日新聞提供)

中部国際空港開港記念を冠につけた第66回東海学生駅伝競走大会が、12月5日に愛知県の半田市・成岩中学と武豊町・JFEスチール塩田グラウンド間の7区64.5キロコースに20チームが出場して行なわれました。4連覇を目指す愛工大A

は、ゴール直前で中京大に追いついたものの、写真のように胸の差で逃げ切れず、同タイムの2位となりました。

1区で6位と出遅れた愛工大Aですが、徐々に順位をあげて4区では3位に。5区からは3連続区間賞の走りを見せ、特に最終7区では徳山選手がゴールの約20メートル手前で中京大・工藤純

	距離	選手	タイム
1区	8.8 <sup>キ</sup>	羽根 啓介②	28分11秒
2区	6.9 <sup>キ</sup>	中村 昌利①	21分34秒
3区	9.2 <sup>キ</sup>	本多 且明④	29分56秒
4区	12.6 <sup>キ</sup>	牛山 純一③	39分03秒
5区	7.7 <sup>キ</sup>	本島 治宏④	24分24秒※
6区	9.5 <sup>キ</sup>	松田 康成④	30分30秒※
7区	9.8 <sup>キ</sup>	徳山 雄太③	30分43秒※

選手と並びましたが、あと一步の踏ん張りがきかず、3時間24分21秒で中京大と同タイムながら2位に終わりました。愛工大Aの記録は表の通りです(マル数字は学年、※印は区間賞)。

全国選抜へ野球など7クラブ

3月下旬に開催される高校の全国選抜大会に、愛工大名電高校からは野球をはじめフェンシングや相撲など、計7つのクラブが出場します。

大会名、期間、会場、出場選手(敬称略)などは次の通りです。応援をよろしくお願いします。

【フェンシング】◆第29回全国高校選抜フェンシング大会(3月19~21日・熊本県上天草市大矢野総合体育館)

河田子鵬、深谷成史、前田大貴、棚橋勇斗(すべて1年) ※深谷君は海外遠征にも参加します

【相撲】◆第56回全国高校相撲新人選手権大会(3月20日・高知県立春野総合運動公園相撲場)

青山智昭、木村亮、平田怜(以上2年)、高橋徹(1年)、堀田賢一、周戸健一郎(以上2年)

【野球】◆第77回選抜高校野球大会(3月23日~4月3日・兵庫県西宮市阪神甲子園球場)

野球部

【自転車】◆平成16年度全国高校自転車競技大会(3月24~27日・鹿児島県根占町自転車競技場、南大隈特設ロードコース)

倉谷一哉、外勢健一朗、水谷将司、阿部倫也、桑原浩介(以上2年)、川端敏史(1年)

【アーチェリー】◆第23回全国高校アーチェリー選抜大会(3月25~28日・静岡県掛川ヤマハつま恋リゾート)

日置将登、大沼祥(以上2年)

【卓球】◆全国高校選抜卓球大会(3月26日~28日・奈良市中央体育館)

安本和雄、松竹紀昭、安藤康寛、鈴木将行、荒木和親、宮本陽介(以上2年)、武田和也(1年)

【剣道】◆第14回全国高校剣道選抜大会(3月27~28日・春日井市総合体育館)

加藤真大(2年)、鈴木良仁(1年)、池田賢二(2年)、國田晃典、村瀬直樹、今井新流(以上1年)、為房佑輔(2年)

スポーツ情報コーナー

1点差の熱戦を繰り広げた武蔵工大との決勝戦



武蔵工大戦 1点差覆せず初Vを逃す  
全国地区対抗大学ラグビー準優勝

第55回全国地区対抗大学ラグビー大会が1月2、4、6日の3日間、名古屋・瑞穂ラグビー場でひらかれました。各ブロック代表の8チームが参加、順調に勝ち進んで決勝に進んだ愛工大（東海・北陸）は、強豪・武蔵工大（関東1区）と対戦。1点差をどうしても覆すことができず、19-20で敗れて念願の初優勝はお預けとなりました。

愛工大は昨年の東海ラグビーAリーグで準優勝し、北陸地区代表の金沢大を53-5の大差で下して全国地区対抗大学ラグビーの東海・北陸代表に。地区対抗では初戦の新潟大（関東2区）戦を26-17で競り勝ち、準決勝では北海道大（北海道）に70-0で圧勝して決勝へ駒を進めました。

初優勝をかけた武蔵工大戦は、前半20分にトライを奪ったものの、反撃にあって5-10で折り返し。後半27分にはペナルティートライで19-17と逆転に成功、優勝を引き寄せたかに見えましたが、33分にペナルティーゴールで19-20と再逆転され、この1点差を最後まではね返せませんでした。

全日本中学卓球ダブルスで優勝  
附中の篠原・森本ペアを学園表彰

大会やコンクールで、全国トップレベルの成績を収めた学生・生徒を讃える学園表彰式が12月20日午後、学園本部5階大会議室で行われ、全日本中学卓球ダブルスで優勝した篠原哲郎君（2年）と森本耕平君（1年）のペアに後藤淳理事長から賞状が手渡されました。

式では篠原・森本君のほか、田村隆部長（教諭）、増田朗監督（事務部係長）、今枝一郎コーチ（高校教諭）の指導担当3人にも賞状などが贈られ、後藤理事長は寮生活を続けながら練習を続けている篠原君と森本君を「日本一おめでとう。家族に会いたい気持ちを抑え、頑張ってください」と激励しました。



後藤理事長に表彰される篠原君と森本君

岩原が距離15キロフリーでV2達成  
第50回中部日本学生スキー選手権大会  
総合で8年連続8回目の優勝飾る

1月4日から7日まで、長野県白馬村の岩岳スキー場で21校が参加して開かれた第50回中部日本学生スキー選手権大会男子1部で愛工大は、107得点を挙げて2位金沢大に26点差をつけ、8年連続8回目の総合優勝を果たしました。種目別では、距離15キロフリーの岩原明生選手（3年）が40分29秒4で2年ぶり2度目の優勝を飾り、2位に入った10キロクラシカル（36分29秒1）と合わせた複合も2年ぶりに制しました。



15キロフリーで優勝した岩原選手（中日新聞提供）

主な記録は次の通りです。

【アルペン】

▽大回転（全長750メートル、標高差170メートル、最大斜度32.5%、旗門数23）②稲垣正織（1年）44秒99③丸山三朋（4年）45秒56④三浦健太郎（2年）45秒72⑥丹羽紹元（2年）46秒11

▽回転（全長504メートル、標高差95メートル、最大斜度32.5%、旗門数37・35）②三浦健太郎 1分15秒96（38秒18、37秒78）

▽スーパー大回転（全長750メートル、標高差170メートル、最大斜度32.5%、旗門数24）③丸山三朋 45秒90⑤稲垣正織 45秒97

【クロスカントリー】

▽10キロクラシカル ②岩原明生 36分29秒1  
▽15キロフリー ①岩原明生 40分29秒4  
▽複合 ①岩原明生 1時間16分58秒4（36分29秒、40分29秒4）

【リレー】（10キロ×4）

④愛工大《岩原明生、鈴木友形（1年）、金井素直（1年）、稲垣正織》2時間15分25秒5

【総合】

①愛工大 107点②金沢大 81点③名城大 49点

瀬戸地方近郊駅伝に混成チームが出場  
「コンソーシアムせと」に加盟の6大学

第53回瀬戸地方近郊駅伝が12月12日、瀬戸市上本町の市民公園を発着点とする特設コースで開かれました。愛知万博100日前記念の冠がつけられた今大会には、万博に合わせて開館するパルティセとを拠点に市民向け共同事業をする「大学コンソーシアムせと」も、男子1部（一般・5区間20.1キロ）に混成チームを編成して初出場しました。コンソーシアムせとには、愛工大をはじめ金城学院、中部、名古屋学院、名古屋産業、南山の計6大学が参加していますが、大会には愛工大、名院大、名産大、南山大の4大学による2チームと中部大単独の1チームの計3チームが出場。大学では走った経験のない人もいて、成績は8～10位と3チームとも今ひとつでした。なお、男子3部（高校陸上部・5区間20.1キロ）に出場した愛工大名電高Aチームは、1時間3分5秒のタイムで4年連続優勝を果たしました。

# 「近代的で素晴らしい学校」

## 江蘇省の教育訪日団が名電高を視察

中国江蘇省の程振響・教育行政幹部訓練中心副主任を団長とする「基礎教育訪日団」の一行八人が一月十九日、名電高校を訪れて学園や高校の幹部と歓談するとともに、調理実習の見学やソーラー発電システム、喬徳館、メディアライブラリーなど高校自慢の施設を見て回りました。

午前九時三十分過ぎに高校に到着した程団長らは、校長室で後藤淳・学園理事長、桜井正一校長、中野正紀教頭、若杉和彦事務長らから学園や高校の歴史、施設の概要などについて説明



学園・高校関係者(手前)から説明を受ける一行



男子生徒の調理実習を熱心に見て回る人たち

を受けました。続いて東館六階の調理室で調理実習を見学、男子生徒が餃子づくりに挑戦する様子を熱心に見学したり、出来上がった餃子の試食を楽しんだりしていました。また屋上に出てソーラーシステムを見学し、発電量を質問したり、ナゴヤドームなど周辺の展望を満喫、記念写真を撮りあつたりしていました。さらにコンピュータルーム、喬徳館、メディアライブラリー、サテライト教室など、高校自慢の施設を見て回りました。

「近代的で素晴らしい学校です。生徒は活発だし、先生がたも熱心に指導しておられる。帰国したら、これらの状況を報告し、江蘇省の教育向上の参考にしていきたい」と感想を話していました。

## A C Eが団体優秀賞を受賞

トレース技能検定 2人に個人優良賞も



愛知工業大学情報電子専門学校(A C E)がこのほど、財団法人実務技能検定協会(内田保弘会長)の平成十六年度トレース技能検定・団体優秀賞に選ばれ、情報工学科の中塚良君(写真㊟)とともに一年IIも個人の優良賞を獲得しました。二月二十八日に東京で行われる団体表彰式には、指導担当の山内康義・助教授(写真㊟)が出席します。

A C Eは、昨年十月のトレース技能検定で平均点が高かった十校に入り、優良賞の二人は百点満点の検定で九十点超の好成績を収めました。

## 寄託

### ◇スマトラ沖地震津波に50万円

昨年12月26日に発生したスマトラ沖地震津波の被災者に少しでも役立ててもらおうと、学園や各設置校の教職員に義援金を募ったところ、合計で39万1045円が寄せられました。内訳は学園6万6044円、大学26万5831円、高校2万6500円、中学2万1000円、専門学校1万1670円でした。集まったお金に学園からの10万8955円を加え、総額50万円を1月25日、西井松生事務局長が社会福祉法人・中日新聞社会事業団に寄託、翌26日付の中日新聞県内総合版に掲載されました。

### ◇新潟県中越地震には約30万円

10月23日に発生した新潟県中越地震の被災者に役立ててもらおうと、学園・大学の教職員に義援金を募ったところ、学園8万3139円、大学21万905円の計29万4044円が寄せられました。このお金は12月9日、社会福祉法人・中日新聞社会事業団を通じて被災者に贈られました。

ご協力ありがとうございました。

## 編集後記

大学の入試シーズンが本番を迎えました。自分が経験した頃とは試験方法が様変わりし、選択肢の多さに驚かされます。少子化傾向は進むばかりで、平成十九年には、十八歳人口と大学の募集定員が同じ「全入時代」の到来が予測されています。▼多くの大学は今、学生サービスや就職支援など、受験生や保護者を意識した対応で試行錯誤を繰り返しています。▼しかし、こんな時代だからこそ、どんな教育をし、どんな学生を送り出そうとしているのかを、社会に対してはつきり示す必要があります。▼若者たちの大学に対する思い・期待は多様化するばかりですが、高い知識・技術を身に付けさせ、社会に貢献できる人材を育てる。大学の使命はこれしかありません。▼受験生は減る一方なのに、独立行政法人の国公立大が「私大」並みの強力なライバルとして立ち上がってきています。▼私学に働く者すべてが共通の認識に立ち、正しい情報と的確な分析により、大学そのものをレベルアップしていくこそ、未来は開けます。(柳)